



豊かで暮らしやすい地域づくり

■かわまちづくり等による魅力ある水辺空間の創出

従来からそこにある景観、歴史、文化などを活かし、また、地域の方々が有する幅広い知識・情報を共有し、観光振興や地域活性化等に貢献するまちと水辺が融合した空間を形成します。

～民間企業による水辺を活用したイベントの開催～（五ヶ瀬川かわまちづくり）

河川敷地占用許可準則の緩和を受け、平成30年4月に食の拠点となる「かわまち交流館」がオープン。民間事業者による飲食店等の経営が可能となり、水辺を活かしたイベントも多数開催され、観光客等で賑わいをみせています。



かわまち交流広場



鮎やな



親水空間の整備（五ヶ瀬川総合水系環境整備事業）

～歴史的文化遺産を活用した河川空間の創出～（新萩原橋周辺地区かわまちづくり）

加藤清正由来の八の字堰の復元を行い、かつてそこに在った風景と歴史を蘇らせ、平瀬の復元により鮎の産卵場を創出しています。また高水敷整正等により河川利用を促進し、まちと川が一体となった良好な水辺空間を形成し地域の賑わいを創出します。



鮎の生息環境の再生
(巨石についた鮎のはみ跡)



巨石による石組み



八の字堰の復元（球磨川総合水系環境整備事業）

■「道の駅」の第3ステージに向けた取組

「道の駅」は、平成5年の制度創設以来、現在では九州で134箇所（令和元年6月末時点）登録されています。2020年からは「道の駅」第3ステージとして位置づけ、地方創生や観光を加速する拠点の実現に向け、多言語対応等によるインバウンド観光への対応強化、広域的な防災機能の強化、子育て応援施設の整備によるあらゆる世代が活躍する地域センターとしての取組を推進します。

◇主な取組

- ・外国人観光案内所の認定
- ・BCP（事業継続計画）の策定
- ・ベビーコーナーの設置



多言語対応の案内所



防災訓練の実施

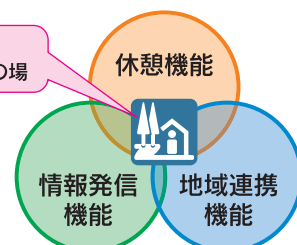
◇道の駅の機能

休憩機能 ・24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ

情報発信機能 ・道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報など提供

地域連携機能 ・文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設

地域とともにつくる
個性豊かなにぎわいの場

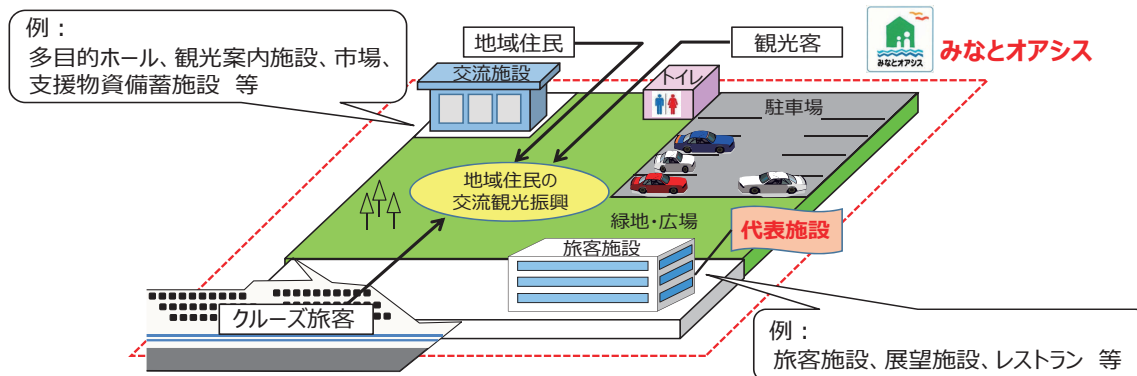


■「みなと」を核とした魅力ある地域づくり

「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設を「みなとオアシス」として全国135箇所(九州管内18箇所)を登録(令和元年12月末時点)しています。

「みなとオアシス」では、地域住民、観光客等が交流する様々なイベントや見学会が開催されており、魅力ある地域づくりを促進します。

令和元年11月15日に開港130周年を迎えた北九州港で、記念式典と併せて「みなとオアシス門司港」が登録されました。



◇みなとオアシス門司港



代表施設:旧大連航路上屋
(交流施設)



構成施設:門司港国際ターミナル
(旅客施設)



構成施設:関門海峡ミュージアム
(交流施設)



「みなとオアシス門司港」
登録証交付式

■文化と風土の継承(公園)

豊かな自然環境を利用し、広域レクリエーション需要に対応できる場の提供、歴史文化の情報発信の拠点、地域と連携したイベントの開催など、公園事業を通じて地域の活性化に寄与します。



海の中道海浜公園



国営吉野ヶ里歴史公園

■魅力あふれる公共空間の創造(官庁営繕)

国民の共有財産である官庁施設に関して、良質な施設及びサービスを効率的に提供し、公共建築分野において常に先導的な役割を果たします。

◇鹿児島第3地方合同庁舎(鹿児島県鹿児島市)



「歴史と文化の道」に面する庁舎



鶴丸城「御楼門」を眺める視点場の整備

◇小倉合同庁舎(福岡県北九州市)



小倉城・勝山公園に隣接する庁舎